

## 千波湖水質浄化推進協会が最優秀団体に

～クールアースいばらき2019大会開催～

9月5日にホテルレイクビュー水戸において、「クールアースいばらき2019大会」を開催しました。この大会は、県内の事業所、学校及び地域などでのエコ活動（脱炭素社会に向けた取組）を広く周知することで、温暖化防止活動の環を広げることを目的として実施しています。

大会では、次の4団体に発表いただきました。エントリー団体概要は以下のとおりです。（発表順）

出場団体	取組内容
<p>東部燃焼器具販売株式会社</p> 	<p>会社設立は1969年。創業より、住宅設備機器のお取り付け・メンテナンスを行ってきております。</p> <p>脱炭素社会を確立する為、従来の給湯器の案件においてエネファーム・エコキュートの提案をしています。ボランティアとしましては、イベント会場にて来場者にエコに関するチラシ配布をして啓蒙活動をしています。スポーツに力を入れており、水戸ホーリーホック、アストロプラネッツ、茨城ロボッツのスポンサーを務めています。野球部もあり、水戸市ナイター軟式大会で優勝経験も。更には地産地消の茨城の食育文化を大切に、サツマイモ農場へ協賛もしています。</p>
<p>株式会社 エコソー技術研究所</p> 	<p>弊社は『攻めの省エネで低炭素社会を目指す』をスローガンに、2012年3月に創業。会社代表は環境に優しい表面処理の研究開発に長年携わってきました。現在の環境問題は地球温暖化によるものと捉え、社会貢献したいと考えていました。この度、紹介する低炭素の取組みは『窓ガラス遮蔽コーティング』によるCO<sub>2</sub>削減事業です。幸いCO<sub>2</sub>削減に熱心な法人及び個人からの引合いが徐々に増え、現在までに延べ6,000㎡超の処理実績となりました。これは年間およそ434tのCO<sub>2</sub>削減に相当します。</p>
<p>千波湖水質浄化推進協会</p> 	<p>アオコの発生が後をたたない千波湖をなんとかしようとして震災直後の平成22年に設立されて活動開始。</p> <p>千波湖を一周するアオコ調査からはじまり、湖の水質浄化のためにビオトープ事業を発信したところ、たちまち市民イベントに定着。今ではアオコ除去装置まで導入するなど「脱炭素を市民が知恵と体でPR」。水をきれいにしたい思いは、水生植物が茂る浮島を10基投入して生育促進ライトアップも。周辺休耕田のホタル再生は5haに及び、植物のCO<sub>2</sub>吸収効果は毎年2,400t。「千波湖脱炭素市民チャレンジ」を紹介します。</p>
<p>株式会社 TOGA</p> 	<p>TOGAはToxic Gas Clean Air Systemを意味します。弊社製品は独自開発のフィルターを活用しダクト不要でありますので、大気へ有害ガス/CO<sub>2</sub>の放出も皆無です。弊社の企業理念であるE (Environment)、H (Health)、S (Safe)を常に実践し、ユーザー様に安全、安心な作業空間を提供するのみではなく、地球環境の保全にも寄与出来る企業を目指しております。</p> <p>脱炭素にも十分に貢献できる企業理念、製品と自負しており、CSR活動でも環境保護に対して積極的な取り組みで地域社会とも末永く関わられる企業を目指してこれからも邁進いたします。</p>

## 1 大会周知と審査方法

本大会の周知については、茨城県センターのHPに掲載するとともに、本協会会報誌に掲載し行政・企業・団体等の会員に発送するとともに、チラシを県民に広く配布しました。

### (1) エントリー団体の決定

12団体の出場希望があり、その取組内容やCO<sub>2</sub>削減効果等を元に事務局にて選考した結果、4団体の出場を決定しました。

### (2) 審査

審査は、茨城県地球温暖化防止活動推進員や市町村の担当者の皆様102名の方に審査を行っていただきました。

### (3) 審査規定

審査員には事前に審査基準を記載した用紙を配付し、各団体の発表後、「地域特性」、「独自性」、「発展性」及び「CO<sub>2</sub>削減効果」等の合計7項目について採点していただきました。

## 2 大会結果

各団体ともに優劣付けがたい取組内容で、審査員を悩ませましたが、「千波湖水質浄化推進協会：千波湖をきれいに！ 市民脱炭素プロジェクト」の事例が高く評価され、最優秀賞に輝きました。

また、発表終了後、採点集計時間を利用して、審査結果を集計している間「低炭素杯2018」企業部門で金賞を受賞した「倉持産業株式会社」、「低炭素杯2019」学生部門でオーディエンス賞を受賞した「常磐大学松原ゼミ」の様子を上映した後、両団体のプレゼンに“かっぱ”役として出場した上野由来夫推進員から体験談を話していただきました。

今回出場していただいた4団体は、来年2月に開催される「脱炭素杯2020」(全国大会)のファイナリストとして審査を受けることとなりますが、複数団体が選出されますよう、茨城県センターも協力してまいります。

## クールアースいばらき2019大会 出場者を募集しています。

～優れた取組みは「脱炭素チャレンジカップ2020」(全国大会)に推薦～

待ったなしの地球温暖化防止対策。  
あなたは、このかけがえのない地球を守るため、  
どんな行動をしていますか？  
県内の事業所や学校、そして地域で活動している市民  
の皆さんのエコ活動を広く発表していただき、行動の「環」  
を広げ、全国に向けて発信してませんか。  
その取り組み、私たちが応援します。

主催：茨城県地球温暖化防止活動推進センター  
(一般社団法人 茨城県環境管理協会)

大会日時：令和元年9月5日(木) 14:30～17:00

開催場所：ホテル レイクビュー水戸 (水戸市宮町1丁目6-1)

### 審査と表彰

本大会では、出場者のプレゼンテーションを公開、公募した視聴者(審査員)による投票を行い、「優秀賞」を選出し、表彰します。  
上位の団体は、令和2年2月開催予定の「脱炭素チャレンジカップ2020」(※今年度から名称変更)  
(主催：温暖化防止全国ネット、後援：環境省、文部科学省)の茨城県代表として推薦します。

\*出場者・視聴審査員ともに、参加申込みは無料。詳細は裏面をご覧ください\*

「低炭素杯」茨城県勢は毎年賞を受賞！ 全国大会のこれまでの活躍

2017大会  
環境大臣賞(学校部門)  
オーディエンス賞 金受賞



学校法人鎌丘学園  
水戸英宏小学校・中学校様 (水戸市)

2018大会  
環境大臣賞(企業部門)



倉持産業(株)様 (常陸市)

2019大会  
オーディエンス賞



常磐大学松原ゼミナール様  
(水戸市)

上記受賞団体の他、2018大会で有川ヒコ館ホテが最優秀ソーシャルイノベーション賞を、2015大会で常磐大学が学生部門最優秀若手ビジネス賞を、2018大会で花王(株)鹿島工場が最優秀スローワー賞を受賞しています。企業や団体の取組に効果がある取組の模範を得るのチャンスです。

